

令和2年度第2回医師部会の委員意見

- ・勤務地要件については、拡大により地域の医療バランスや医師偏在の改善ができるようにするのが良い。ただし、きちんとした教育のできる施設が必要であり、診療科によってより適切な勤務地域の要件が必要と思われる。状況によりインセンティブも必要
- ・基本領域の専門研修プログラムの終了後であれば勤務地要件の設定がしやすいか。専門医取得後の卒後6年目から9年目であれば、プログラムとは関係なく勤務地要件を付けることが可能。ただし各科のサブスペシャリティにも配慮が必要ではないか。

● 医師偏在対策と、診療分野ごとに適切な教育機能を備えた勤務先の確保の両立が必要

分野ごとに指定医療機関を各域の区分に合わせて集計した数字は下表のとおり

- ・ 医師少数区域 = 西多摩、南多摩、島しょ
- ・ 医師多数区域以外の地域 = 区東北部、西多摩、南多摩、北多摩北部、島しょ
- ・ 医師不足地域 = 区東北部、区東部、西多摩、南多摩、北多摩西部、北多摩北部、島しょ

分野	指定医療機関数 全体	医師少数区域	医師多数区域 以外の地域	医師不足地域	多摩
		小児医療	53施設	8施設	14施設
周産期医療	41施設	6施設	10施設	14施設	13施設
救急医療	29施設	3施設	5施設	7施設	8施設
※ 救急医療については、上記以外に指定二次救急医療機関で 独立した救急部門を持つ病院		6施設	16施設	25施設	15施設

勤務地域要件の扱い（案）

- 各診療分野とも勤務地域要件の設定を行った場合の指定医療機関数が十分にあるとは言い難く、毎年度25人規模となる地域枠医師の育成の質を保ちながら、一定年数、一定地域での勤務地域要件を義務化することは困難

以上のことから、診療分野ごとの勤務地域要件の義務化は見送ってはどうか。一方で、医師偏在対策としては、前述した「へき地医療分野の勤務要件の見直し」と後述する「初期臨床研修先の見直し」の2段階構えとしてはどうか。

参考：勤務地域要件について 「小児医療の指定医療機関」

	施設名	二次保健医療圏	市区町村	医療機関	医師少数区域	医師多数区域以外の地域	医師不足地域	多摩
1	日本大学病院	区中央部	千代田区	◆				
2	聖路加国際病院		中央区	◆				
3	東京慈恵会医科大学附属病院		港区	◆				
4	虎の門病院			◆				
5	順天堂大学医学部附属順天堂医院			◆				
6	東京大学医学部附属病院		文京区	◆				
7	日本医科大学付属病院			◆				
8	東京医科歯科大学医学部附属病院			◆				
9	昭和大学病院		品川区	◆				
10	東邦大学医療センター大森病院	◆						
11	公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院	◆						
12	東邦大学医療センター大橋病院	大田区	◆					
13	国立成育医療研究センター		◆					
14	日本赤十字社医療センター		◆					
15	東京都立広尾病院	区西南部	目黒区	◆				
16	東京女子医科大学病院		世田谷区					
17	国立国際医療研究センター病院		渋谷区					
18	慶應義塾大学病院	区西部	新宿区	◆				
19	東京医科大学病院		◆					
20	河北総合病院		◆					
21	東京都立大塚病院	区西北部	杉並区					
22	東京北医療センター		豊島区					
23	日本大学医学部附属板橋病院		北区					
24	帝京大学医学部附属病院		板橋区	◆				
25	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院			◆				
26	練馬光が丘病院		練馬区					
27	順天堂大学医学部附属練馬病院	区東北部	荒川区	◆		○	○	
28	東京女子医科大学東医療センター		足立区	◆		○	○	
29	博慈会記念総合病院		葛飾区	◆		○	○	
30	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	区東部	葛飾区			○	○	
31	公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院		墨田区				○	○
32	東京都立墨東病院						○	○
33	賛育会病院	区東部	江東区				○	○
34	江東病院						○	○
35	昭和大学江東豊洲病院						○	○
36	東京臨海病院	西多摩	江戸川区	◆			○	○
37	青梅市立総合病院		青梅市			○	○	○
38	東京医科大学八王子医療センター	南多摩	八王子市	◆		○	○	○
39	南多摩病院					○	○	○
40	東海大学医学部付属八王子病院				◆		○	○
41	町田市民病院	町田市				○	○	○
42	日野市立病院		日野市			○	○	○
43	公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院		多摩市			○	○	○
44	稲城市立病院	北多摩西部	稲城市			○	○	○
45	国家公務員共済組合連合会 立川病院		立川市				○	○
46	太陽こども病院		昭島市				○	○
47	武蔵村山病院	武蔵村山市					○	○
48	武蔵野赤十字病院							○
49	杏林大学医学部付属病院	北多摩南部	武蔵野市	◆				○
50	東京都立小児総合医療センター		三鷹市					○
51	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北多摩北部	府中市					○
52	公立昭和病院		狛江市	◆				○
53	公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター		小平市			○	○	○
			東村山市			○	○	○
	計 53 施設				8施設	14施設	22施設	17施設

参考：勤務地域要件について 「周産期医療の指定医療機関」

	施設名	二次保健医療圏	市区町村	医育機関	医師少数区域	医師多数区域以外の地域	医師不足地域	多摩	
1	聖路加国際病院	区中央部	中央区						
2	東京慈恵会医科大学附属病院		港区	◆					
3	愛育病院								
4	順天堂大学医学部附属順天堂医院			◆					
5	東京大学医学部附属病院		文京区	◆					
6	日本医科大学付属病院			◆					
7	東京医科歯科大学医学部附属病院			◆					
8	昭和大学病院	区南部	品川区	◆					
9	東邦大学医療センター大森病院		大田区	◆					
10	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	区西南部	目黒区						
11	国立成育医療研究センター		世田谷区						
12	日本赤十字社医療センター		渋谷区						
13	東京女子医科大学病院	区西部	新宿区	◆					
14	国立国際医療研究センター病院			◆					
15	慶應義塾大学病院			◆					
16	東京医科大学病院								
17	東京都立大塚病院	区西北部	豊島区						
18	東京北医療センター		北区						
19	日本大学医学部附属板橋病院		板橋区	◆					
20	帝京大学医学部附属病院			◆					
21	公益財団法人東京都保健医療公社豊島病院								
22	順天堂大学医学部附属練馬病院		練馬区	◆					
23	東京女子医科大学東医療センター		荒川区	◆		○	○		
24	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	区東北部	葛飾区	◆	○	○			
25	葛飾赤十字産院			○	○				
26	東京都立墨東病院			墨田区				○	
27	賛育会病院	区東部	江東区				○		
28	昭和大学江東豊洲病院			◆				○	
29	青梅市立総合病院	西多摩	青梅市		○	○	○	○	
30	東海大学医学部附属八王子病院	南多摩	八王子市	◆	○	○	○	○	
31	町田市民病院		町田市		○	○	○	○	
32	日野市立病院		日野市		○	○	○	○	
33	日本医科大学多摩永山病院		多摩市	◆	○	○	○	○	
34	稲城市立病院		稲城市		○	○	○	○	
35	国家公務員共済組合連合会 立川病院		北多摩西部	立川市			○	○	
36	武蔵野赤十字病院		北多摩南部	武蔵野市				○	○
37	杏林大学医学部附属病院	三鷹市		◆				○	
38	東京都立多摩総合医療センター	府中市						○	○
39	東京都立小児総合医療センター								○
40	東京慈恵会医科大学附属第三病院	狛江市		◆				○	○
41	公立昭和病院	北多摩北部	小平市			○	○	○	
	計 41 施設				6施設	10施設	14施設	13施設	

参考：勤務地域要件について

「救急医療の指定医療機関」

施設名 救命救急センター(◎)、専門研修プログラム基幹施設(●) (このほか、独立した救急部門を持つ病院も可)		二次保健医療圏	市区町村	医育機関	医師少数区域	医師多数区域 以外の地域	医師不足地域	多摩	
1	● 日本大学病院	区中央部	千代田区	◆					
2	◎● 聖路加国際病院		中央区						
3	● 東京慈恵会医科大学附属病院		港区		◆				
4	◎● 東京都済生会中央病院								
5	● 順天堂大学医学部附属順天堂医院		文京区		◆				
6	◎● 東京大学医学部附属病院				◆				
7	◎● 日本医科大学付属病院				◆				
8	◎● 東京医科歯科大学医学部附属病院				◆				
9	◎● 昭和大学病院		区南部	品川区	◆				
10	◎● 東邦大学医療センター大森病院	大田区		◆					
11	◎● 独立行政法人国立病院機構東京医療センター	区西南部	目黒区						
12	◎● 日本赤十字社医療センター		渋谷区						
13	◎● 東京都立広尾病院								
14	◎● 東京女子医科大学病院	区西部	新宿区		◆				
15	◎● 国立国際医療研究センター病院				◆				
16	● 慶應義塾大学病院				◆				
17	◎● 東京医科大学病院				◆				
18	◎● 日本大学医学部附属板橋病院	区西北部	板橋区		◆				
19	◎● 帝京大学医学部附属病院				◆				
20	◎● 東京女子医科大学東医療センター	区東北部	荒川区	◆		○	○		
21	◎● 東京都立墨東病院	区東部	墨田区				○		
22	◎ 青梅市立総合病院	西多摩	青梅市		○	○	○	○	
23	◎● 東京医科大学八王子医療センター	南多摩	八王子市	◆	○	○	○	○	
24	◎ 日本医科大学多摩永山病院		多摩市	◆	○	○	○	○	
25	◎● 独立行政法人国立病院機構災害医療センター	北多摩西部	立川市				○	○	
26	◎● 武蔵野赤十字病院	北多摩南部	武蔵野市					○	
27	◎● 杏林大学医学部付属病院		三鷹市	◆				○	
28	◎● 東京都立多摩総合医療センター		府中市					○	
29	◎● 公立昭和病院		北多摩北部	小平市			○	○	○
計 29 施設					3施設	5施設	7施設	8施設	

参考

上記以外に指定二次救急医療機関で独立した救急部門を持つ病院			6施設	16施設	25施設	15施設
-------------------------------	--	--	-----	------	------	------

対象診療科について 「へき地医療分野の勤務要件の見直し②」

へき地医療分野の勤務要件の見直し（案）

- 勤務地域要件を設定する期間を現行通り4年6月以上とし、そのうちへき地での勤務年数を3年以上とし、多摩地域での勤務年数を1年6月以内としてはどうか。また、へき地での勤務年数は、現実のへき地勤務の年数だけをカウントしてはどうか。
- 主に総合診療専門研修を選択する地域枠医師の受け皿とする一方、へき地勤務と多摩地域の病院での勤務を必須とすることで、医師の偏在対策に役立つものとしてはどうか。
- 多摩地域の病院で勤務する期間のカウントからは、医育機関の附属病院での勤務期間は除くが、市町村公立病院への派遣希望者には、都が採用した医師を派遣調整する「地域医療支援ドクター」と合わせて勤務先を調整することとし、地域枠医師のキャリア形成と両立を図ってはどうか。

以上の見直しにより、多摩・島しょを主眼に置いた東京版「へき地・総合診療医」を養成・輩出するコースとしてはどうか。

(勤務ローテーション例)

指定勤務〇年目	1, 2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	
見直し案	【例1】 3年制プログラムの場合	初期研修	総合診療専門研修プログラム						
		大学病院 内科 (6)	多摩連携 総診Ⅱ (6)	大学病院 小児 (3) 救急 (3)	へき地勤務 (総診Ⅰ) (12)	大学病院 内科 (6)	自己の診療科従事 (総合診療科等) (12)	多摩地域の病院 (12)	へき地勤務 (24)
	【例2】 4年制プログラムの場合①	初期研修	総合診療専門研修プログラム						
	都内病院 内科 (6) 小児 (3) 救急 (3)	へき地勤務(総診Ⅰ、Ⅱ) (24)		都内病院 内科 (6) 整形外科 (6)		へき地勤務 (24)	多摩地域の病院 (12)		
	【例3】 4年制プログラムの場合②	初期研修	総合診療専門研修プログラム						
	大学病院 内科 (6)	多摩連携 総診Ⅱ (6)	大学病院 小児 (6) 救急 (6)	内科 (6) 産婦人科 (6)	へき地勤務 (12)	多摩地域の病院 (12)	へき地勤務 (24)		
	(参考) 内科プログラムの場合	初期研修	内科専門研修プログラム						
	大学病院 専門 (24)	多摩連携 内科 (6)	地域医療 (6)		へき地勤務 (36)	多摩地域の病院 (12)			

論点：初期臨床研修病院

令和2年度第2回医師部会の委員意見

- ・臨床研修病院については、奨学生としては選択肢が多い方がよいと思うが、出身大学以外のプログラムであっても、出身大学と同等の一貫した教育が可能であるかを確認する必要がある。
- ・まずは募集する大学の責任下において出身大学附属病院での初期臨床研修をすることが望ましいが、大学の定員数や本人の希望などにより、都内医師多数区域以外の臨床研修指定病院での研修を認めてもよいのではないかと。むしろ医師偏在対策には効果があるとも思われる。
- ・地域枠を設定している大学同士であれば（現行では順天、杏林、慈恵）出身大学以外も認めても良いのではないかと。奨学生に自分が都の地域枠で、東京都の医療を担うために選抜され、医師のトレーニングを受けていることを強く自覚してもらい、かつ、研修中も東京都と都枠を受け入れた医学部が責任を持つことを明らかにできる。

- 地域枠医師への研修の質の担保や東京都地域枠医師としての自覚を持たせることが必要
- 臨床研修先を広げることは、設定の仕方によっては、医師偏在対策に有効

初期臨床研修先（案）

○地域枠医師の臨床研修先として、従来からの都内に所在する被貸与者の出身大学附属病院に加えて、以下の2つの場合はマッチング登録を認めてはどうか。

- ①出身大学以外の地域枠実施大学の附属病院（都内所在）
- ②医療機関附属病院を除く都内医師少数区域（西多摩・南多摩）の臨床研修病院

○①については、地域枠としての一体的な教育という観点から、②については地域医療を担う研修先であり医師偏在対策に資することとなり、地域枠の理念と合致するという観点から、認めることとしてはどうか。

以上のことから、地域枠制度の趣旨に基づく臨床研修先の拡大を行ってはどうか。

参考： 検討対象 初期臨床研修病院

現行地域枠三大学附属病院 定員

	臨床研修病院名	二次保健医療圏	市区町村	定員数
1	順天堂大学医学部附属順天堂医院	区中央部	文京区	45
	順天堂大学医学部附属順天堂医院（小・産）	区中央部	文京区	4
	順天堂大学医学部附属練馬病院	区西北部	練馬区	31
	順天堂大学医学部附属練馬病院（小・産）	区西北部	練馬区	4
2	杏林大学医学部付属病院	北多摩南部	三鷹市	57
	杏林大学医学部付属病院（小・産）	北多摩南部	三鷹市	4
3	東京慈恵会医科大学附属病院	区中央部	港区	31
	東京慈恵会医科大学附属病院（小・産）	区中央部	港区	4
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	区東北部	葛飾区	11
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北多摩南部	狛江市	18
	東京慈恵会医科大学附属第三病院（小・産）	北多摩南部	狛江市	4
現地域枠三大学計				213

医師少数区域等の臨床研修病院 定員

	臨床研修病院名	二次保健医療圏	市区町村	医育機関	定員数	医師少数区域	医師多数区域 以外の地域	医師不足地域
1	東京女子医科大学東医療センター	区東北部	荒川区	◆	13		○	○
2	博慈会記念総合病院	区東北部	足立区		2		○	○
3	東京都保健医療公社 東部地域病院	区東北部	葛飾区		3		○	○
4	都立墨東病院	区東部	墨田区		14			○
5	同愛記念病院	区東部	墨田区		4			○
6	昭和大学江東豊洲病院	区東部	江東区	◆	12			○
7	江東病院	区東部	江東区		6			○
8	江戸川病院	区東部	江戸川区		4			○
9	東京臨海病院	区東部	江戸川区		8			○
10	青梅市立総合病院	西多摩	青梅市		9	○	○	○
11	公立福生病院	西多摩	福生市		2	○	○	○
12	公立阿伎留医療センター	南多摩	あきる野市		3	○	○	○
13	東京医科大学八王子医療センター	南多摩	八王子市	◆	15	○	○	○
14	東海大学医学部付属八王子病院	南多摩	八王子市	◆	3	○	○	○
15	町田市民病院	南多摩	町田市		5	○	○	○
16	日野市立病院	南多摩	日野市		3	○	○	○
17	東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	南多摩	多摩市		4	○	○	○
18	日本医科大学多摩永山病院	南多摩	多摩市	◆	4	○	○	○
19	稲城市立病院	南多摩	稲城市		2	○	○	○
20	立川相互病院	北多摩西部	立川市		8			○
21	国家公務員共済組合連合会 立川病院	北多摩西部	立川市		5			○
22	災害医療センター	北多摩西部	立川市		12			○
23	東大和病院	北多摩西部	東大和市		6			○
24	東京西徳洲会病院	北多摩西部	昭島市		2			○
25	公立昭和病院	北多摩北部	小平市		10		○	○
26	東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	北多摩北部	東村山市		5		○	○
定員数（医育機関除く）計						28	48	117